

# 財界九州 8

Since 1958. 九州・沖縄の「時流」を知る総合情報誌

No.1139

総括

九州・沖縄の主要企業・経済団体  
トップ  
人事  
2019



熊本都市圏

スポーツ世界大会や街づくりの動向に熱視線!!

TOP INTERVIEW

熊本市市長 大西一史氏

「近隣自治体とより一層の連携を図り  
『誰もが憧れる上質な生活都市』へ」

エリアレポート

福岡	創業企業の成長速める「FGN」へ
北九州	風力発電関連の「総合拠点」目指す
久留米	久留米中心部への「企業進出」加速
佐賀	「唐津コスメ構想」点から線へ進展
長崎	新幹線効果の「最大化」活動に注力

佐世保	澤田氏「社長退任」地元の見方二分
大分	「末広町1丁目再開発」やっと始動
宮崎	国事業選定で「花の宮崎」が新局面
鹿児島	県や鹿児島市が「野心的海外戦略」
沖縄	不動産「コンシェルジュ」で販路開拓

## ◆ 崇城大学

# 情報学部の新コースを開設 教育改革で「主体的な学び」を



## 熊本都市圏

スポーツ世界大会や街づくりの動向に熱視線!!

### AIやIoTで課題解決を

崇城大（熊本市）は2020年度から、情報学部情報学科を改編し、最先端のICT技術を学ぶ「未来情報コース」「知能情報コース」「電子通信コース」の3コースとする。

中でも注目は、IoTやAI、ブロックチェーンに使われるP2Pなどの技術を、地域や社会の課題解決に生かすことのできる人材を輩出する「未来情報コース」。企業や自治体と連携したプロジェクト活動を学びの場とするアクティブラーニングが特徴だ。知能情報コースは、AIやデータサイエンスなどを探求し、社会のさまざまな要求に応える情報システムを構築できる人材を育成。電子通信コースは、電子デバイスなどの技術を用いて、社会課題や環境問題を解決する「ものづくり」人材を育成する。

これからの社会には、ICTを駆使し今までは考えも及ばない先端的な開発を担える人材が欠かせない。新コースでは、パイソン（欧米でよく使われるスクリプト言語）を使ったプログラミングなど、学生は情報技術の先端分野を学べる。3コースの始動とともに、情報学部に「IoT・AIセン



中山 峰男 学長

ター」の開設も計画。中山学長は「VRやARを使ったデモンストレーションの場を設け、学生にプレゼンテーションの経験を積ませたい」と語る。いずれは他の学部の学生にもチャレンジを促し、全学に広げていくという。

同大は英語教育にも力を入れてきた。全学科の1、2年生必修科目として、外国人教員がコミュニケーション型の英語の授業を行う英語学習施設SILC（シルク）がある。海外留学ではSILCで学んだ「生きた、英語を活用することで、グローバルな人材へと成長している。今後はICTとの両輪で、学生に時代が求めるスキルを身に付けることができる。

### 「何ができるか」を重要視

一方、昨年度から教育改革による新たな取り組みもスタートした。その一つが「SOJOポートフォリオシステム」だ。これは学生に「気づき→努力→自信→意欲」のPDCAサイクルを回す習慣を身につけさせ、学修意欲の促進を図ることが目的。学生・教員・職員各々が、

学生一人ひとりの授業、活動、生活面などをシステム上に記入することで、すべてがデータ化され共有される。そのことによって迅速な学生支援や学生一人一人の目標達成に役立てることができる。その結果、学生は、自己表現が豊かになり、自身を分析し将来のキャリアデザインを設計することができるようになる。中山学長は『何を学んだか』より『何ができるようになったか』が重要。その中で、社会に必要とされるプロフェッショナルの育成を目指す」と力を込める。

### TGC熊本のロゴをデザイン

同大の地域連携プロジェクトも多様だ。ことし4月、熊本市で開催されたファッションイベント「東京ガールズコレクション（TGC）熊本」では、芸術学部デザイン学科の学生たちがロゴなどを作成・提案。イベントのプラチナパートナー鶴屋百貨店（熊本市）のスタッフと数回の打ち合わせを経てロゴなどが完成し、発表した。

今後は地域企業から課題をもらいPBL型（課題解決型）の学習で、ますます若者たちの実践力がパワーアップするだろう。

